

# 火原協大学講座一日集中講座 “発電所冷却水系への海生生物汚損の実体と対策” をテーマに開催！

火原協大学講座の新メニュー「一日集中大学講座」を開催しました。

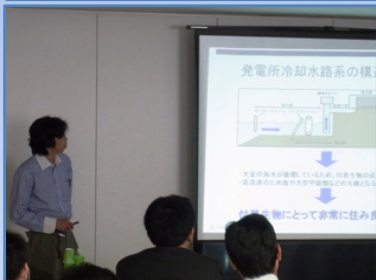
原猛也(海生研・中央研究所長)を中心に、協会の海生生物対策研究会のメンバー5名を講師に招き、「発電所冷却水系への海生生物汚損の実体と対策」をテーマに、6月13日水曜日10時から夕刻の16時半まで、火原協会議室にて熱い議論が交わされました。



テーマ1 「汚染損傷の実体と問題の所在」

勝山 一朗 先生

日本NUS株式会社(日本付着生物学会副会長)  
付着生物による障害の歴史から現状まで、発電所が抱える問題全般について、話された。



テーマ2 「障害生物の生理・生態」

野方 靖行 先生

一般財団法人 電力中央研究所  
付着生物として、イガイ、イガイ、フジツボ、ヒドロ虫などの生態や出現時期などについて話された。



テーマ3 「対策の種類 その1」

飯淵 敏夫 先生

公益財団法人 海洋生物環境研究所  
付着対策として次亜塩素酸の付着防止機能などについて、学術的に話された。



テーマ4 「対策の種類 その2」

大庭 忠彦 先生

株式会社 ナカボーテック  
忌避パネルを中心に、防汚塗料や電解装置などについて話された。



テーマ5 「環境とのバランス」

原 猛也 先生

公益財団法人 海洋生物環境研究所  
塩素注入の歴史から現状の規制基準に触れ、環境対策と経済性とのバランスについて話された。

火原協大学講座に関するお問い合わせは、下記の協会事務局担当者までお問い合わせください。  
米田 TEL:03-3769-3090(代表)